



平清盛公 生誕九百年 記念シンポジウム

時を超えて
清盛の壮大な夢が
よみがえる。



とき 2018年1月28日(日) 13:20~16:50
平成30年

ところ はつかいち文化ホール さくらぴあ 大ホール
広島県廿日市市下平良一丁目11-1

主催 平清盛記念事業実行委員会

入場
無料
(要事前申込)

第一部 基調講演「清盛公とその功績」 講師 東京大学 教授 本郷 和人(大河ドラマ「平清盛」時代考証者)
13:30~

第二部 パネルディスカッション「清盛公と宮島」 パネリスト 本郷 和人/松井 輝昭/フंक・カロリン/西本 寮子
14:30~
(東京大学教授) (県立広島大学名誉教授) (広島大学大学院教授) (県立広島大学教授)
コーディネーター 岩崎 誠
(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター長)

第三部 創作神楽「厳島」 演舞 琴庄神楽団(北広島町)
16:00~

平清盛公生誕九百年



記念シンポジウム

プログラム

12:30 13:20 13:20~13:30		受付 開会 あいさつ 平清盛記念事業実行委員会 実行委員長 中村 靖富満 廿日市長 眞野 勝弘
13:30~14:20	第一部	基調講演「清盛公とその功績」 講師 本郷 和人(東京大学教授/大河ドラマ「平清盛」時代考証者)
14:30~15:40	第二部	パネルディスカッション「清盛公と宮島」 パネリスト 本郷 和人(東京大学 教授) 松井 輝昭(県立広島大学 名誉教授) フंक・カロリン(広島大学大学院 教授) 西本 寮子(県立広島大学 教授) コーディネーター 岩崎 誠(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター長)
(休憩20分) 16:00~16:50	第三部	創作神楽「厳島」 演舞 琴庄神楽団(北広島町)
16:50		閉会

応募要項

シンポジウムへの参加には
聴講券が必要となります。

往復はがき往信面に「シンポジウム聴講希望」
「参加希望人数(1枚で2名まで申込み可)」
「氏名」「年齢」「郵便番号」「住所」「電話番号」
を記入し、返信面に必ず返信先を記入のうえ、
ご応募ください。

- 応募締切
2018年1月10日(水) 必着
- 応募先
(一社)宮島観光協会 記念シンポジウム係
〒739-0505 広島県廿日市市宮島町1162-18
- 募集定員
600名(応募多数の場合は抽選となります)
- お問合せ
TEL: (0829) 44-2011
詳しくは、宮島観光協会webサイト
(<http://www.miyajima.or.jp/>)を
ご覧ください。

出演者プロフィール

本郷 和人 (東京大学 教授)

1960(昭和35)年 東京都生まれ。東京大学史料編纂所教授。東京大学・同大学院で石井進氏・五味文彦氏に師事し日本中世史を学ぶ。中世政治史、古文書学専攻。史料編纂所で『大日本史料』第五編の編纂を担当。

1983年 東京大学文学部卒業

1988年 東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学

1996年 「中世朝廷訴訟の研究」で博士(文学)(東京大学)

■おもな著書

「戦いの日本史 武士の時代を読み直す」2012年(角川学芸出版)
「謎とき平清盛」2011年(文春新書)
「平氏と源氏の人物・合戦がわかる本」(監修)2011年(PHP文庫)
「武力による政治の誕生 選書日本中世史」2010年(講談社選書メチエ)
「新・中世王権論 武門の覇者の系譜」2004年(新人物往来社)



西本 寮子 (県立広島大学 教授)

広島市生まれ。現在は人間文化学部教授。副学長(2015年4月より)。2017年4月より宮島学センター長。

専門は中世王朝物語を中心とする物語文学。特に平家の時代の『源氏物語』享受に関心がある。近年は、広島県内に伝わる中近世の資料を調査、地域文化研究にも携わる。

国文学研究資料館文献調査員のほか、広島県内では、世羅町ふるさとゆめ基金審査委員、三次市総合計画策定委員、呉市入船山記念館運営審議会委員などを務める。



岩崎 誠 (中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター長)

1964(昭和39)年 大阪府生まれ。京都大学文学部卒。1993年 中国新聞社入社。報道部、呉支社、文化部記者、西広島支局長、報道部デスク、論説委員・論説副主幹を経て2017年3月からヒロシマ平和メディアセンター長。

平和・安全保障問題、歴史・文化・宗教、瀬戸内海の環境が主なテーマ。廿日市市と宮島の行政、歴史、自然の取材も重ね、「厳島を支える」「神宿る一みやじまの素顔」などの連載を担当。中央環境審議会の専門委員として瀬戸内海の環境保全計画見直しに携わった。



松井 輝昭 (県立広島大学 名誉教授)

1948(昭和23)年 福井県生まれ。

1977年広島大学大学院文学研究科博士課程前期修了。

2005年厳島神社の文書管理の研究で博士(文学)。

厳島神社の不思議に魅せられて、神仏習合を始めとする厳島神社史の多面的な研究を進める。著者は「厳島文書伝来の研究」他。

フंक・カロリン (広島大学大学院 教授)

1998(平成10)年 フライブルク大学地学部人文地理研究所で博士号。1998年から広島大学総合科学部の教員となり、2014年から広島大学大学院総合科学研究科教授。専門は観光地理学。

研究テーマ: 持続可能な観光、沿岸域観光、日本における外国人旅行者、瀬戸内海の観光

著書: Funk, C./ Cooper, M.: Japanese Tourism.



琴庄神楽団

広島県北部の北広島町、豊平地域に籍を置き、琴谷天日神社と庄原八幡神社を守護神として、団員20名で活動する神楽団。旧高宮町より習い受けた従来の神楽を伝承するとともに、舞台芸能としての神楽にも取り組んでおり、平成22年に世界遺産「宮島」を題材とする創作神楽「厳島」を発表した。

